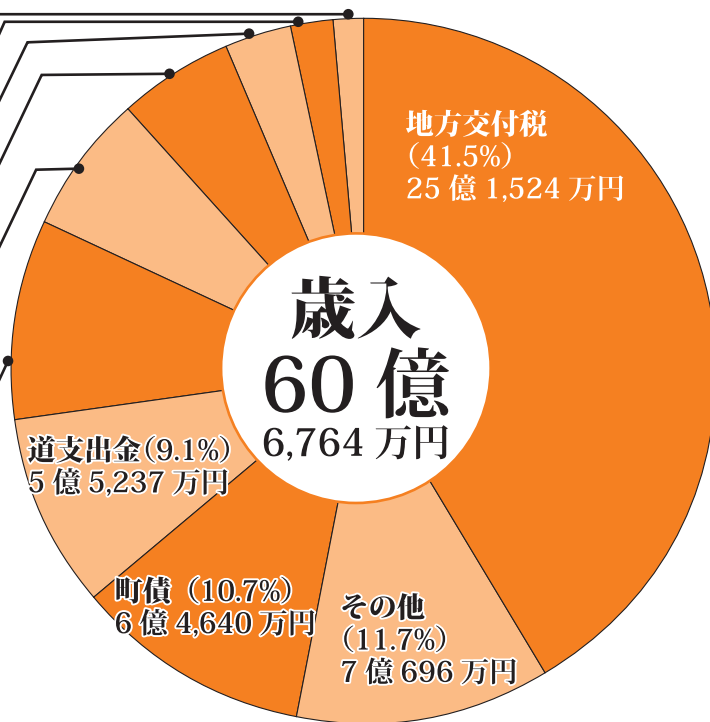


町の決算

まちの家計簿といえる平成28年度決算を公表します。
 町民みなさんから納めていただいた税金や国、道からの補助金等がどのように使われているかをお知らせするものです。
 年々、厳しくなる財政状況の中、節減に努め効率的な財政運営を行ない財源確保に最大の努力を図っていききたいと思
 いますので、町の行政について、皆さんの一層のご理解とご協力をお願い致します。



町税の負担状況 人口3,155人(29年3月末)

税区分	決算額	構成比	町民一人当たり
町民税	1億4,775万円	46.8%	46,831円
固定資産税	1億2,914万円	40.9%	40,932円
軽自動車税	972万円	3.1%	3,081円
たばこ税	1,948万円	6.2%	6,174円
入湯税	962万円	3.0%	3,049円
合計	3億1,571万円	100%	100,067円

借入金の状況 (一般会計分)

区分	平成28年度末現在高
農林水産	1,920万円
土木	2,071万円
公営住宅	4億4,337万円
公共事業等	7,879万円
過疎対策事業	16億4,756万円
一般会計出資債	751万円
緊急防災・減災事業債	1億7,698万円
臨時財政対策債	4億3,916万円
その他	6,415万円
合計	28億9,743万円

町有財産の状況 (平成28年度 決算現在高)

土地	5,438,201㎡	車輛	77台
建物	112,035㎡	絵画	2点
山林	3,554,824㎡	有価証券	508万円
		出資金等	3,524万円
基金(一般会計分)	30億5,489万円		
財政調整基金	3億6,660万円		
減債基金	6億2,753万円		
特定目的基金	20億5,469万円		
定額運用基金	607万円		
備荒資金組合納付金	5億1,955万円		

一般会計

一般会計の決算額は、歳入が60億6764万円、歳出が60億4309万円で差し引き1億2455万円の黒字決算となりました。

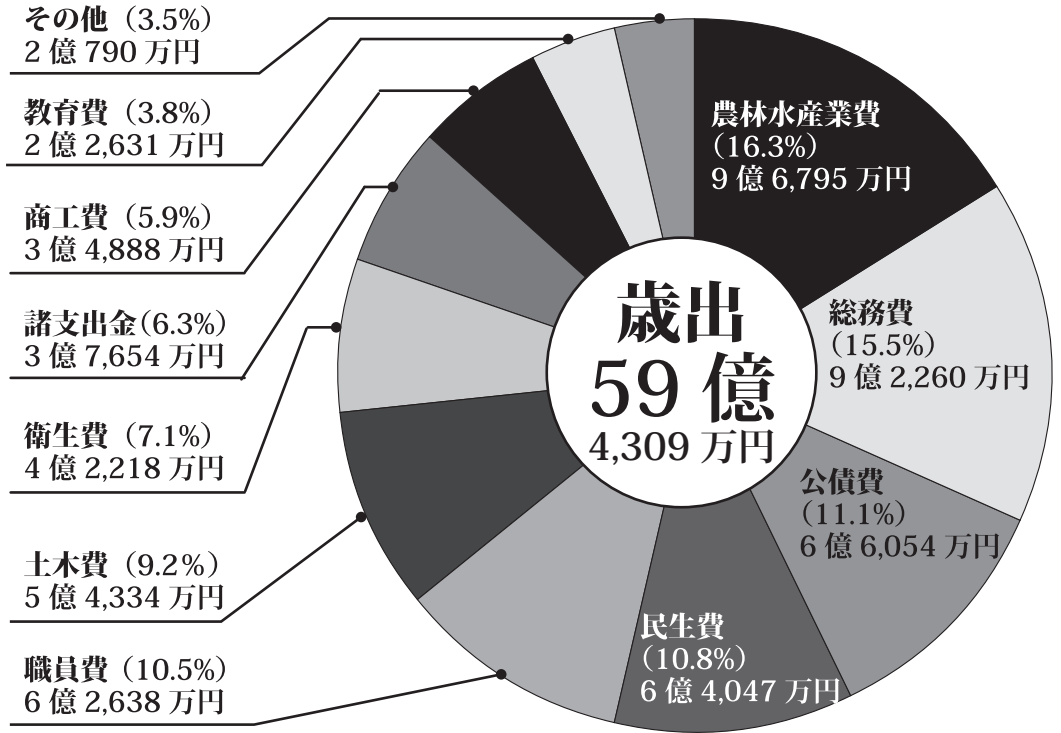
町民の皆さんが納めた町税は3億1571万円で、1人当たり10万677円負担したことになります。

これに対し、1人当りに使われた費用は188万3705円で黒字決算とはいえ依然、自主財源に乏しくその大半を地方交付税や町債(町の借金)に頼る財源内容となっております。

◇備荒資金組合納付金とは：
 災害による減収補てん・災害応急復旧事業費やその他災害に伴う費用にあてるために、道内の市町村が一部事務組合を設立し積立を行っているもので、使い道が災害関連等に限定される普通納付金と、使い道に制約の無い超過納付金に分けられています。

用語の解説

- 総務費…町の内部管理・税務・戸籍・選挙・統計などに要する経費です。
- 民生費…福祉事業、認定こども園運営費などの経費です。
- 衛生費…健康づくり、ごみ、し尿処理などに要する経費です。
- 農林水産業費…農林業の振興などに要する経費です。
- 商工費…商工業・観光の振興などに要する経費です。
- 土木費…道路整備・維持、町営住宅管理などに要する経費です。
- 教育費…小中学校、社会教育、保健体育などに要する経費です。
- 公債費…町の借入金の返済に要する経費です。
- 諸支出金…基金の積立金などに要する経費です。
- 職員費…職員に対して支給される給料と各種手当などに要する経費です。
- その他…議会費、消防費などの経費です。



地方公営企業とは、地方公共団体が地域住民の福祉の増進を目的として経営する企業です。

※特別会計と公営企業会計は、税・使用料・負担金・国道支出金のほか、一般会計からの繰入金等で運営がなされ、効率的運用に努めています。

公営企業会計

特定の事業に使われる経費を一般の歳入歳出と区分して経理する会計です。

特別会計

特別会計		
会計名	歳入	歳出
養護老人ホーム	3億911万円	2億8,758万円
特別養護老人ホーム	3億287万円	2億9,130万円
高齢者グループホーム	4,147万円	3,780万円
介護保険	3億5,604万円	3億3,596万円
国民健康保険	5億8,202万円	5億2,803万円
後期高齢者医療	5,551万円	5,543万円
公共下水道	2億2,175万円	2億2,072万円
合計	18億6,877万円	17億5,682万円

公営企業会計			
会計名	区分	決算額	
水道事業会計	収益的	収入	1億8,150万円
		支出	1億8,691万円
	資本的	収入	142万円
		支出	3,129万円

平成29年度上半期 収支状況

平成29年度の上半期（4月～9月）の収支状況をお知らせします。
限られた財源のなかで健全財政を堅持しつつ町民生活の向上を重点に、行財政の効率的な運営に努めています。
この公表を通じ、町の財政がどのような状況にあるかをご覧いただき、住みよいまちづくりに関心を持っていただければ幸いです。
ご理解とご協力をお願いします。

歳入

執行率
46.3%

歳出

執行率
37.3%

予算額：49億6,248万円
収入済額：22億9,787万円

予算額：49億6,248万円
支出済額：18億5,054万円

3億1,747万円 1億5,580万円 (49.1%)	町税
20億6,701万円 15億3,314万円 (74.2%)	地方交付税
8,277万円 3,926万円 (47.4%)	使用料及び手数料
1億6,474万円 4,633万円 (28.1%)	国庫支出金
3億9,761万円 1億1,410万円 (28.7%)	道支出金
1億8,538万円 6,321万円 (34.1%)	財産収入
4億7,244万円 4,000万円 (8.5%)	繰入金
1億1,755万円 1,473万円 (12.5%)	諸収入
4億8,180万円 — (0.0%)	町債
6億7,571万円 2億9,130万円 (43.1%)	その他

6億9,248万円 2億3,228万円 (33.5%)	総務費
8億70万円 3億9,123万円 (48.9%)	民生費
4億400万円 2億923万円 (51.8%)	衛生費
6億1,658万円 2億2,905万円 (37.1%)	農林水産業費
1億1,928万円 8,380万円 (70.3%)	商工費
4億5,655万円 6,557万円 (14.4%)	土木費
3億8,233万円 1億3,831万円 (36.2%)	教育費
3億1,842万円 1億1,673万円 (36.7%)	公債費
3億7,041万円 113万円 (0.3%)	諸支出金
6億520万円 2億8,802万円 (47.6%)	職員費
1億9,653万円 9,519万円 (48.4%)	その他

※上段が予算額、下段が収入・支出済額で（ ）は執行率です。

町税の収入状況

税区分	予算額	調定額	収入済額	収歩 入合
町民税	1億4,485万円	1億5,925万円	5,742万円	36.1%
固定資産税	1億3,560万円	1億3,828万円	7,594万円	54.9%
軽自動車税	970万円	969万円	951万円	98.1%
たばこ税	1,757万円	1,009万円	819万円	81.2%
入湯税	975万円	474万円	474万円	100%
合計	3億1,747万円	3億2,205万円	1億5,580万円	48.4%

特別会計

会計名	予算額	収入済額	支出済額
養護老人ホーム	2億8,468万円	1億3,803万円	1億721万円
特別養護老人ホーム	3億3,520万円	1億1,118万円	1億3,879万円
高齢者グループホーム	3,948万円	1,609万円	1,404万円
介護保険	4億1,672万円	1億5,979万円	1億3,624万円
国民健康保険	6億2,150万円	2億3,980万円	2億1,436万円
後期高齢者医療	5,925万円	1,456万円	1,160万円
公共下水道	2億430万円	1,947万円	8,079万円
合計	19億6,113万円	6億9,892万円	7億303万円

公営企業会計

会計名	区分	予算額	執行額
水道事業会計	収益的	収入	1億5,271万円
		支出	1億5,982万円
	資本的	収入	71万円
		支出	2,397万円

町債の借入予定

事業名	借入予定額
過疎対策事業債	3億2,790万円
旭町幹線舗装補修事業	540万円
高穂幹線高穂1号橋補修事業	570万円
高穂幹線高穂2号橋補修事業	210万円
除雪機械購入事業	2,910万円
地域密着多機能型総合センター建設事業（総合通所サービスセンター）	1億1,840万円
地域密着多機能型総合センター建設事業（地域あんしんセンター）	9,720万円
旧沼田中学校解体事業	7,000万円
介護サービス事業債	5,120万円
臨時財政対策債	1億270万円
合計	4億8,180万円

沼田町の財政状況を

家計に例えたら・・・

沼田町の財政状況を家計に例えた場合、年収約241万円（税込・税外収入）と親からの仕送り約207万円（地方交付税）を合算した約448万円が年額収入となり、このうち約32万円は借金の返済（公債費）に充てなければならず、実際に可処分所得として使えるのは約416万円となります。一方、この家計は、家計費（一般歳出）として年間約464万円を必要としており、収入でまかないきれない約48万円は、借金（公債金収入）として調達しなければなりません。その結果平成29年度末には、ローン残高（公債残高）は約309万円、貯金残高（基金残高）は約295万円となっています。

平成29年度財政状況【一般会計】

○ 税込+税外収入	24億1,367万円
○ 地方交付税	20億6,701万円
公債費（A）	3億1,842万円
○ 税込等+地方交付税-（A）	41億6,226万円
○ 一般歳出	46億4,406万円
町債収入	4億8,180万円
例：除雪機械購入事業	
※毎年必要なお金ではなく、臨時的に必要な多額の事業費の財源とするのが町債です。	
○ 町債残高予定（H29年度末）	30億8,858万円
○ 基金残高予定（H29年度末）	29億5,016万円

家計に例えた場合

○ 1世帯年収	241万3,670円
○ 親からの仕送り	206万7,010円
ローン元利払（B）	31万8,420円
○ 可処分所得【年収+仕送り-（B）】	416万2,260円
○ 家計費	464万4,060円
不足分=借金	48万1,800円
例：除雪機購入	
※除雪機購入等の必要な経費の不足分（可処分所得の不足分）を補うのが借金です。	
○ ローン残高予定	308万8,580円
○ 貯金残高予定	295万160円

気になる数値を、グラフで見よう！

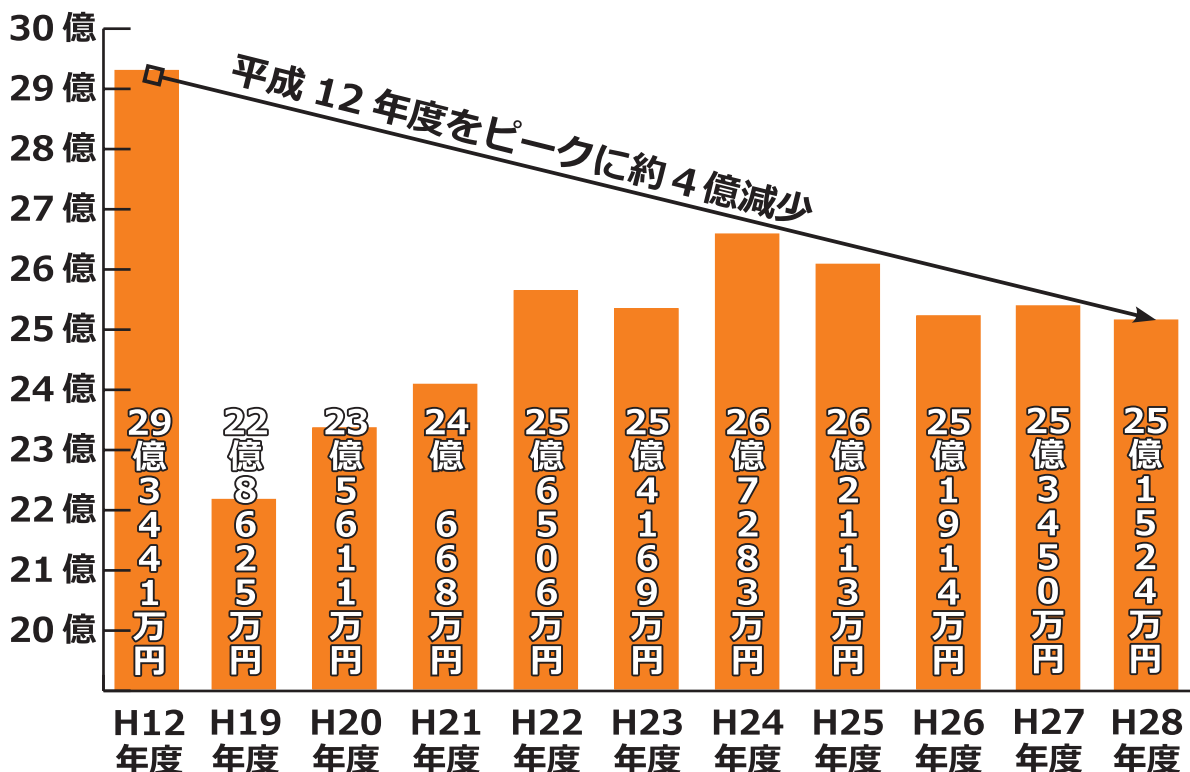
沼田町の財政推移（一般会計）

地方交付税

の推移

平成 28 年度の地方交付税額（普通交付税、特別交付税）は、25 億 1,524 万円で昨年（25 億 3,450 万円）より 1,926 万円減少しました。

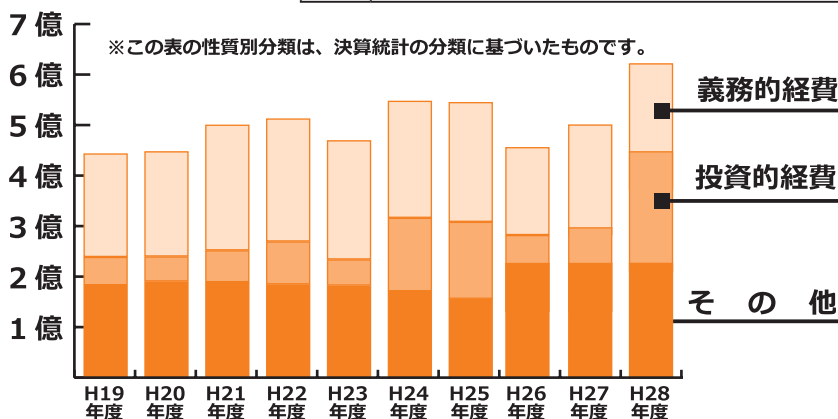
また、平成 12 年度が地方交付税額のピークの年（29 億 3,441 万円）であり、比較すると約 85.7%の水準となっております。



性質別経費

(歳出) の推移

義務的経費	法律で支払いが義務付けられているもの、収入が減っても簡単に減らせられないもの 人件費：職員給与や議員、委員の報酬など 扶助費：生活困窮者、児童、老人、障がい者等支援の経費 公債費：借入金の返済に要する経費
投資的経費	道路の基盤整備、公共施設の建設、災害復旧費に充てられるもの 公共施設の新増設等や、用地取得などの資産形成に資する事業に要する経費 災害の復旧に要した経費
その他	公共物の維持や補修などのその他経費

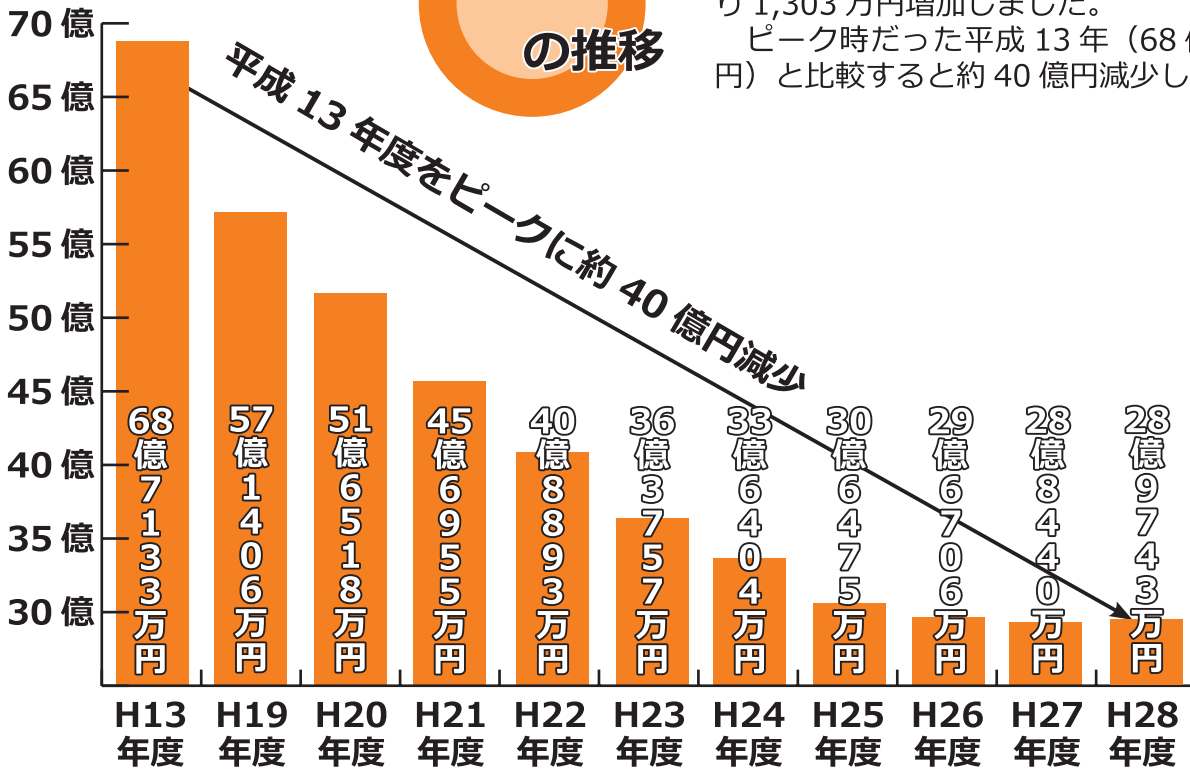


■ 義務的経費	17 億 68 万円
■ 投資的経費	17 億 2,831 万円
■ その他	27 億 1,238 万円
計	61 億 4,137 万円

まちの家計簿

町債(まちの借金)の推移

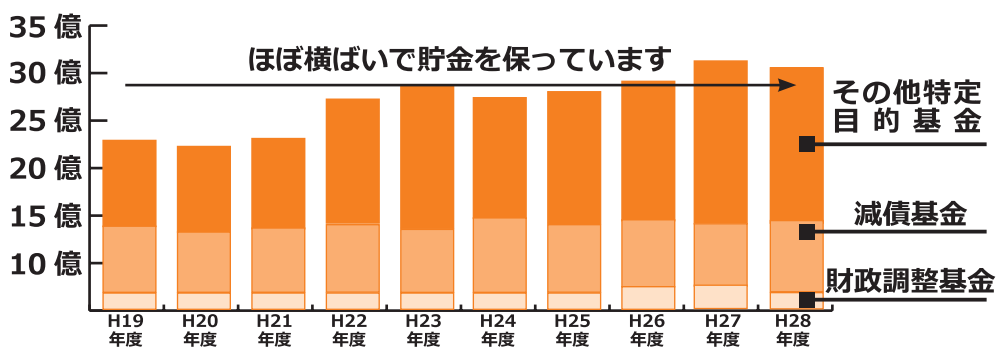
平成 28 年度末の町債（借金）残高は、28 億 9,743 万円で昨年（28 億 8,440 万円）より 1,303 万円増加しました。
ピーク時だった平成 13 年（68 億 7,133 万円）と比較すると約 40 億円減少しています。



基金(まちの貯金)の推移

財政調整基金とは、災害復旧、その他緊急を要し、又は必要やむを得ない財政需要に応ずる財源を積立てるための基金です。
減債基金とは、町債の償還に必要な財源を確保し、将来にわたる町財政の運営に資するための基金です。
平成 28 年度は、財政調整基金等の取り崩しにより、年度末基金現在高が減少しています。

年 度	財 政 調 整 基 金	減 債 基 金	その他特定目的基金	年 度 末 基 金 残 高
平成 19 年度	3 億 1,559 万円	9 億 4,385 万円	11 億 3,408 万円	23 億 9,352 万円
平成 20 年度	3 億 1,598 万円	8 億 6,746 万円	11 億 723 万円	22 億 9,067 万円
平成 21 年度	3 億 1,632 万円	6 億 8,219 万円	13 億 5,413 万円	23 億 5,264 万円
平成 22 年度	3 億 9,642 万円	6 億 4,196 万円	15 億 8,794 万円	26 億 2,632 万円
平成 23 年度	3 億 3,478 万円	6 億 6,898 万円	18 億 2,420 万円	28 億 2,796 万円
平成 24 年度	3 億 3,513 万円	6 億 9,280 万円	16 億 1,196 万円	26 億 3,989 万円
平成 25 年度	3 億 7,597 万円	7 億 1,663 万円	16 億 5,616 万円	27 億 4,876 万円
平成 26 年度	4 億 8,600 万円	6 億 4,650 万円	17 億 2,390 万円	28 億 5,640 万円
平成 27 年度	4 億 1,648 万円	6 億 4,717 万円	21 億 6,542 万円	32 億 2,907 万円
平成 28 年度	3 億 6,660 万円	6 億 2,753 万円	20 億 6,076 万円	30 億 5,489 万円



ふるさと納税の状況について

(ふるさとづくり基金指定寄附金)

ふるさと納税の寄附受け入れと、充当状況をお知らせします。

ふるさと納税制度は、「生まれ育ったふるさとに貢献できる制度」、「自分の意思で応援したい自治体を選ぶことができる制度」として創設され、当町においても全国各地の皆さまから、多数のご寄附をいただいております。

平成28年度は、総額2億8,515万円のご寄附をいただきました。また、いただきました寄附金のうち、1億4,807万円を沼田町の更なる発展のため、有効に活用させていただきました。充当した事業は次のとおりです。

寄附金の充当状況

(平成28年度実施事業)

事業名	金額	内容
1. 安心して暮らしやすいまちづくりを追求する事業	350万円	
深川地区消防組合負担金	350万円	安心安全な救急体制の維持を図るため、高規格救急自動車の更新費用に充当しました。
2. 活気あるまちづくりを追求する事業	550万円	
夜高あんどん祭り事業	550万円	まつりの街並みを演出するべく、街路灯へ提灯の設置と、視察スペースの整備等に充当しました。
3. 教育環境に優れたまちづくりを追求する事業	73万円	
化石研究事業	73万円	国内・海外の学会の参加旅費に充当しました。
4. 地球環境に貢献するまちづくりを追求する事業	72万円	
沼田町自治振興協議会補助金	72万円	町内会等が地域の歩道等を緑化し、行政とともに環境美化を推進するための活動に係る費用に充当しました。
5. その他目的達成の為、町長が必要と認めた事業	1億3,762万円	
医療・福祉・子育て支援事業	7,766万円	診療所の整備、保育料の負担軽減や子育て世帯への暖房経費助成等に充当しました。
移住定住事業	1,251万円	住みやすい移住定住用住宅の整備、高校生の通学交通費の補助等に充当しました。
商工観光事業	464万円	観光資源である明日萌駅周辺の維持管理及び中小企業・商店街活性化を目的とした各種事業等に充当しました。
教育関連事業	3,384万円	学校教育の充実を図るべく、スクールカウンセラー、教育総合アドバイザー等を配置し、報酬に係る経費等に充当しました。
その他の事業	897万円	地域の集会所を快適に使用できるよう、損傷の著しい外壁の改修事業等に充当しました。
合 計	1億4,807万円	



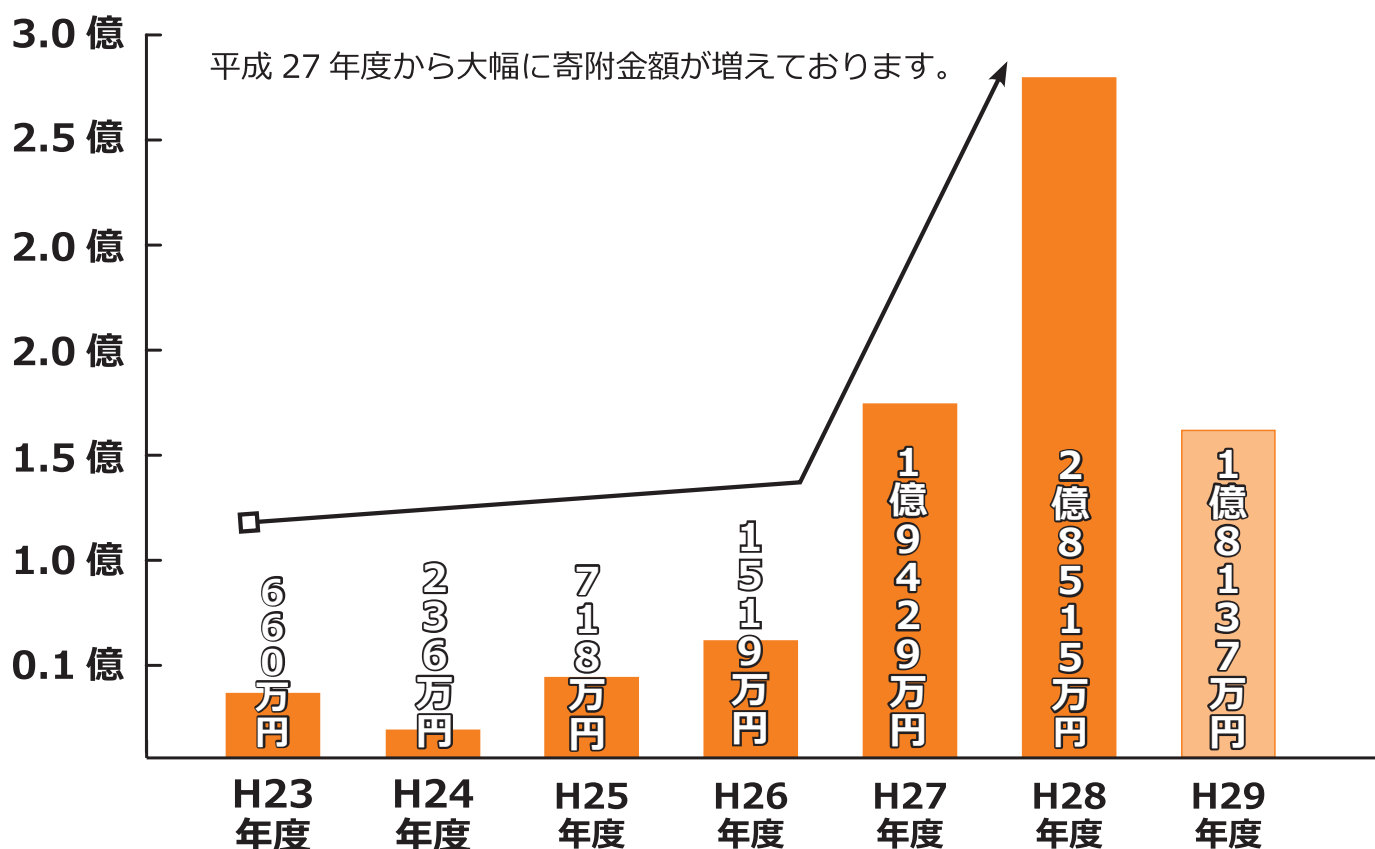
平成29年度は、11月末時点において1億8,137万円の寄附をいただいております。用途指定別の寄附金額の状況は次のとおりです。

寄附金の受入れ状況

(平成29年11月末現在)

事業区分		平成29年度	
		件数	金額
1	安心して暮らしやすいまちづくりを追求する事業	927	1,461万円
2	活気あるまちづくりを追求する事業	638	1,090万円
3	教育環境に優れたまちづくりを追求する事業	1,506	2,540万円
4	地球環境に貢献するまちづくりを追求する事業	806	1,241万円
5	その他目的達成のために町長が必要と認めた事業	7,125	1億1,805万円
合計		11,002	1億8,137万円

寄附金額の推移



※平成29年度は11月末までの寄附金額